

『総合計画』と『まち・ひと・しごと創生総合戦略』の関係について

● 総合計画

- ・ 総合計画は、将来、森町をどのようなまちにしていくのか、そのための具体的な方策を、総合的・体系的にまとめたもの
- ・ 「町の最上位の方針」として位置づけられ、福祉や産業、都市計画、環境などすべての分野について、長期的なまちづくりの方向と施策を示している。
- ・ 現在、策定中の第9次総合計画の計画期間は、平成28年度～37年度の10年間

第9次森町総合計画

基本構想：10年間（平成28年度～37年度）

まちづくりの長期的な指針

基本計画：10年間

基本構想を実現させるための具体的な方策をまとめたもの

**森町まち・ひと・しごと創生総合戦略
（平成27年度～31年度）**

● まち・ひと・しごと創生 総合戦略

- ・ 急速な少子高齢化の進展と人口減少に対応し、地方創生を実現するための、今後5年間の目標や具体的な方策を提示
- ・ 以下の4点を目指す方向性として戦略作成
 - ①「ひと」を育む ～森に学び育つ～
 - ②「魅力」と「交流」をつくる ～人とふれあう～
 - ③「しごと」をつくる ～人を活かす～
 - ④「安心」をつくる ～森との共生～
- ・ 計画期間は平成27年度～31年度の5年間